

子どもたちが「フードアルチザン（食の匠）」について学びます 10月18日（日）北上市で「二子さといも」農業体験を実施

イオン東北は10月18日（日）、JAいわて花巻（岩手県北上市）のご協力のもと、イオン チアーズクラブのメンバーが、北上市でフードアルチザン（食の匠）「二子さといも」について学ぶ農業体験を実施します。



2024年度開催の農業体験の様子

「イオン チアーズクラブ」は、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの「青少年の健全な育成」事業の1つで、小中学生を中心とした子どもたちが、全国のイオングループ等の店舗を活動拠点として、環境や社会貢献をテーマに様々な体験学習を行い、楽しく学び、考える活動を行っています。

この活動の一環として、JAいわて花巻のご協力のもと、2024年に北上市産「二子さといも」について学ぶ農業体験を実施しました。2回目となる今回は、生産者から野菜をつくる過程やおいしさへのこだわりについて学ぶとともに、二子さといもの収穫を体験し、自分たちが住んでいる地域の農業や環境について楽しみながら理解を深めます。

イオン東北はこれからも、地域の皆さまとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長の一助となるべく、積極的な支援を行ってまいります。

【「二子さといも」農業体験の概要】

日 時：2026年10月18日（日）10:00～12:00

体験学習地：[晴天時] 二子さといも圃場（川端公民館集合後、徒歩にて500m移動）

二子さといも選果場（北上市二子町小沼62-1 収穫後移動）

[雨天時] 二子さといも選果場（北上市二子町小沼62-1）

主 催：イオン東北株式会社

協 力：JAいわて花巻

参 加 者：イオン チアーズクラブ盛岡、イオン チアーズクラブ盛岡南、

イオン チアーズクラブ江釣子、イオン チアーズクラブ一関

25名（予定：小学1年生から6年生の子どもたち）

チアーズクラブコーディネーター9名、事務局3名 合計37名

主な内容：生産者による「二子さといも」についての説明、収穫体験、選果場見学

ご参考

■ 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、1990年に設立されました。以来35年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただいて生まれた利益の1%相当額をもとに、「青少年の健全な育成」「諸外国

との友好親善」「地域社会の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域とし、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

※公益財団法人イオンワンパーセントクラブの詳細は、ホームページ (<https://aeon1p.or.jp/1p/>) をご覧ください。

■二子さといもについて

さといもには、「赤茎(あかから)」「白茎(しろから)」の2種類がありますが岩手県北上地域の「二子さといも」は、数百年に及ぶすばらしい形質の「赤茎」をかたくなに守り続け、北上川と丘陵で囲まれた肥沃な土壌で育てられています。

この北上川流域の肥沃な大地で作られてきた二子さといもは、肉質がまるやかで、ぬめり、深いコク、舌触りの良さが特徴です。



■イオンの「フードアルチザン（食の匠）」活動

「フードアルチザン（食の匠）」は、「地域の食文化を守る活動をしてほしい」というお声をお客さまからいただき、2001年から取り組んでいる活動です。全国各地で郷土の味を守り続ける生産者の方々とともに、自治体や大学研究機関の協力をいただきながら、日本の優れた食文化の継承に取り組んでいます。2024年11月現在、1道1府28県の41品目で「フードアルチザン（食の匠）」活動を展開しています。今回子どもたちが学ぶ「会津みしらず柿」は2016年に「フードアルチザン（食の匠）」活動として協議会を設立しました。

※「フードアルチザン（食の匠）」活動の詳細は、ホームページ (<https://www.foodartisan.jp/>) をご覧ください。

■東北エリア内のフードアルチザン（食の匠）活動



【青森県青森市 あおもりカシス】



【青森県大間町 オコッペいもっこ】



【岩手県久慈地方 山ぶどう】



【岩手県北上地域 二子さといも】



【岩手県花巻市 雑穀】



【秋田県男鹿市 ハタハタしよつる】



【秋田県三種町 じゅんさい】



【福島県会津若松市 会津みしらず柿】

■「フードアルチザン（食の匠）」活動の流れ

1. 各自治体・地域より“知る人ぞ知る”地域の食文化をご紹介します
2. 生産者の方々と「次代に残したい!」という熱い思いや現状の課題を伺い、全国のお客さまにご支持いただける味などを何度も話し合います
3. 全国に広がる店舗を活用したテスト販売で、お客さまの声を集めます
↓「フードアルチザン（食の匠）」活動として決定
4. 生産者、自治体、イオンが参加する協議会を設立
5. 同県>同エリア>全国 へと「イオン」や「マックスバリュ」などリアル店舗や、オンラインショップ「イオンショップ」で販売
6. 加工品の開発や、全国の店舗を活用したPRイベントの実施
7. フードアルチザン（食の匠）活動を通じて産品をブランド化